

SHIFT POSITION INDICATOR SPI-HD5 取扱説明書

ハーレー X350(23-)用 シフトポジションインジケータ ver1.00

特長

- コンパクト設計 ●ギアポジション設定済み(取り付け後の設定不要)
- LED表示で視認性が良い(ディマースセンサー搭載[自動調光機能])
- シフトアップインジケータ搭載(任意で回転数を設定できるのでナラシ運転からオーバーレブ防止まで。設定値より回転が上ると青色LEDが常時点灯します。)

セット内容

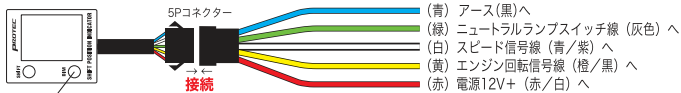


- シフトポジションインジケータ本体 × 1
- 接続用ハーネス × 1
- エレクトロタップ(白) × 5
- 両面テープ(1mm厚・2mm厚) × 各1

注意事項

- 本製品はハーレーX350(23-)用です。最新情報は弊社HPをご覧ください。
- 走行中クラッチレバーを握っている最中は実際に入っているギア以外の表示が出ます。クラッチをつなぐと正しい表示が出ます。
- 走行中は安全を第一に考え、前方不注意にならないようご使用ください。
- 公道において使用される場合は、交通法規を守って運転してください。
- 本製品の裏面はスイッチがありますので付属の両面テープを貼り水が入り込まないようにしてください。マジックテープ等使用不可。
- 取付けの際は取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

配線図



ディマースセンサー
※周囲の明るさに応じてLEDの明るさを自動で調節します。

車両側配線の接続先

アース(-)……シート下黒6Pカプラーハーネスの黒
ニュートラルスイッチ線……メーターハーネスの灰色
スピード信号……ECUカプラーハーネスの青/紫
エンジン回転信号……ECUカプラーハーネスの橙/黒
電源(+)……シート下黒6Pカプラーハーネスの赤/白

取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。

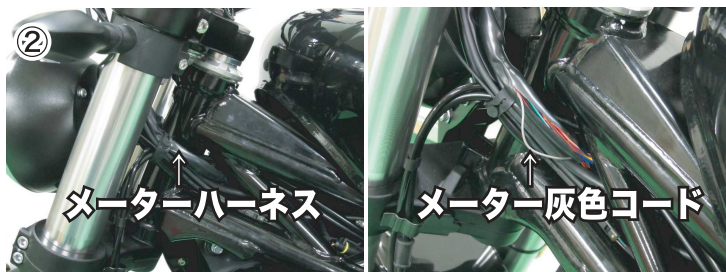
バイクのサービスマニュアルの配線図を参考に接続してください。

※車両側配線と本製品の付属のエレクトロタップで接続してください。

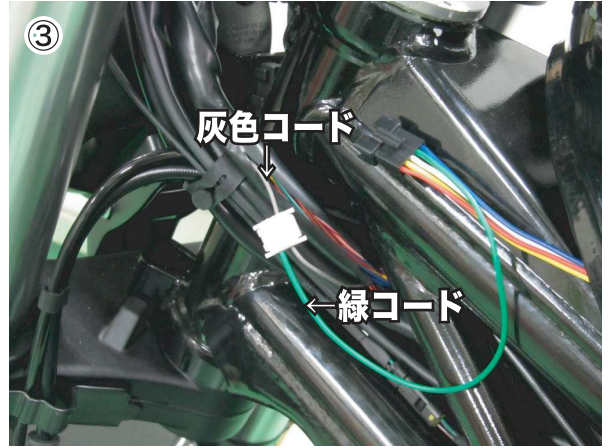
①シート、左右サイドカバーを外します。



②メーターハーネスの黒チューブを裂いて灰色コードを出します。



③メーターハーネスの灰色コードと本製品の緑コードを付属のエレクトロタップで結線します。



④シート下黒6Pの赤/白コードと本製品の赤コードを黒6Pの黒コードと本製品の青コードを付属のエレクトロタップで結線します。



⑤ECU灰色カプラーの青/紫コードと本製品の白コードをECU灰色カプラーの橙/黒コードと本製品の黄色コードを付属のエレクトロタップで結線します。



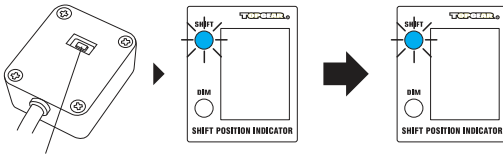
⑥シフトインジケータ本体をメーター下に貼り付け、③～⑤で結線した接続用ハーネスの5Pカプラーと接続します。



本製品は予めギアポジション設定済みですので改めて設定は不要です。但しシフトアップインジケータの設定は任意となっておりますので必要な場合は説明書を参考に設定を行った後に本体を貼り付けます。

シフトアップインジケータの設定 ※任意ですで行わなくても構いません。

実際の走行時において、設定値より回転が上ると青色LEDが点灯します。
※本製品の黄コードが正しく接続されていない場合設定出来ません。

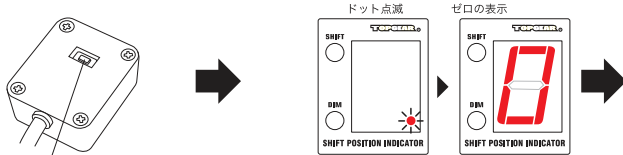


ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを始動後、青色LEDが点滅するまで本体裏のボタンを長押しします。

設定したい回転数まで上げて戻すと青色LEDが高速点滅し、セット完了です。
※設定の変更は何回でも可能です。

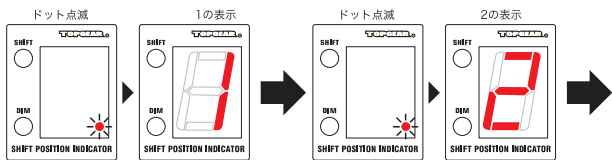
ギアポジションの再設定方法 ※予め設定済みですので基本的に設定不要です。

- ※ギアポジションの設定は十分に安全を確認してから作業用スタンドを使用し、必ずリアホイールを回転(空転)させて3,000rpm以上の安定したエンジン回転数で行ってください。
- ※実際の走行で設定される場合も3,000rpm以上回し、十分注意して安全に行ってください。
- ※「ドット点滅」から「数字の表示」に切り替わるのに通常ドット点滅は3~5回します。



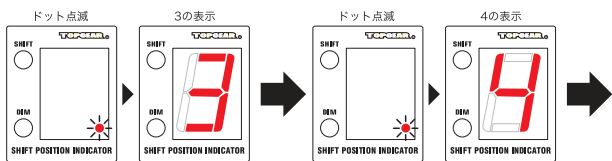
ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを始動後、本体裏のボタンを3回押しします。

「ドット点滅」→「ゼロの表示(ニュートラル)」になったらギアを1速に入れます。



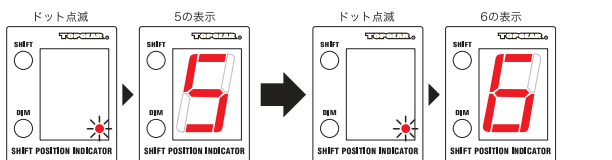
「ドット点滅」→「1の表示(1速)」になったらギアを2速に入れます。

「ドット点滅」→「2の表示(2速)」になったらギアを3速に入れます。



「ドット点滅」→「3の表示(3速)」になったらギアを4速に入れます。

「ドット点滅」→「4の表示(4速)」になったらギアを5速に入れます。



「ドット点滅」→「5の表示(5速)」になったらギアを6速に入れます。

「ドット点滅」→「6の表示(6速)」になったら完了です。

- ※5速車の場合は、4速にシフトダウンして「4の表示」になったら完了です。
- ※再設定をする場合は、一度エンジンを切り最初から行ってください。

シフトポジションインジケータの取付け方法、ギアポジションおよびシフトアップインジケータの設定方法はYouTubeにて動画をご覧頂く事が出来ます。
https://www.youtube.com/watch?time_continue=99&v=rTtwll_y5jo



実走行によるギアポジションの設定方法の注意点

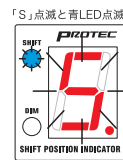
- ※ギアポジション設定にはスピード信号とエンジン回転信号の両方がシフトポジションインジケータに入力される必要があります。
- ※スピード(速度)センサーの装着されているホイールが回転しない状態では設定できません。
また、クラッチを切った状態でアクセルを開けてエンジン回転を上げてても設定できませんのでご注意ください。
- ・スピードセンサーが前輪にある車両は必ず実走行にて設定を行ってください。
- ・走行の際は、周囲の道路状況を確認して安全に十分注意して行ってください。
- ・各ギア共に3,000rpm以上のエンジン回転数を保ってください。(半クラッチ厳禁)
- ・1~5または6速までの設定は途中で止めずに最後まで連続で行います。
設定途中に赤信号で停車してしまった場合は本説明書の表面の黄色い枠の中の説明を参考にしてください。
- ・設定方法は、取扱説明書をご覧くださいませ行ってください。

◆実走行以外での設定方法◆

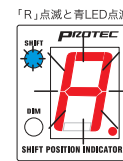
【スピード(速度)センサー信号をリアホイールから検知している車種の場合のみ】

- ・センタースタンドまたは、レーシングスタンドを使用しリアタイヤを路面から浮かせリアホイール回転させて設定することができます。
※シフトチェンジ以外は、クラッチはつながった状態で行ってください。
※必ずリアホイールを回転させてください。
※半クラッチ状態やクラッチが滑っている状態では正しい設定が出来ません。

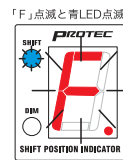
ギアポジション設定時のエラー表示について



スピード信号が取れていない場合、S表示点滅とSHIFTランプ(青LED)点滅が表示されます。SPIの白線が車体側のスピードメーター信号線に正しく接続されていないか、スピードセンサーのあるホイールが回転していません。
※PG-110を使用している場合はマグネットとセンサーを再調整してください。



エンジン回転信号が取れていない場合、R表示点滅とSHIFTランプ(青LED)点滅が表示されます。SPIの黄色線が車体側のエンジン回転またはタコメーター信号線に正しく接続されていません。
タコメーターに接続してもエラーが出る場合はイグニッションコイル一次側マイナスに接続してください。ピックアップコイルやインジェクターへ接続も可能です。



スピード信号とエンジン回転信号の両方が取れていない場合、F表示点滅とSHIFTランプ(青LED)が点滅します。SPIの白線が車体側のスピードメーター信号線に、SPIの黄色線が車体側のタコメーター信号線に正しく接続されていません。
またニュートラル以外のギアに入った状態で電源ONすると「F」点滅表示になります。

※上記以外のご不明な点は弊社ホームページのシフトポジションインジケータQ & Aをご確認ください。
https://www.protec-products.co.jp/support/faq_spi.php

